

SKY コーナー

「SKYフォーラム2014 in 関西」開催 ～「きっちり工事運動」の向上を目指して～

関西支部

はじめに

去る11月20日、関西支部による「SKYフォーラム2014 in 関西」がNTT西日本研修センター（大阪市都島区）において開催されました（写真1～3）。

本フォーラムは会員各社が日常業務の中で安全性・効率性を目指し積極的に実施している「SKY運動」の成果を発表し、啓発・水平展開を図ることを目的としております。

開会にあたり、（一社）情報通信エンジニアリング協会 高江洲関西支部長より、「本日はお忙しい中、NTT西日本ネットワーク部、各支店、NTTグループ各社の方々にもご臨席いただきありがとうございます。

例年であれば、午前中にSKYフォーラム、午後から安全大会とい

うことですが、今回は会場の設営の関係がございまして、安全大会とSKYフォーラムを並行開催で行います。

今回はNTT関係者様から30名、当協会の会員会社から410名の方々に参加いただいております。

SKY運動は創造（S）、改善（K）、躍進（Y）の頭文字をとって名付けられました。歴史を少し紐解いてみますと、資料によれば昭和62年（1987年）から活動を開始したとされております。

その頃、1985年に電電公社からNTTへの民営化の流れがありました。その前後にNTTの中ではアスク活動という安全を基準とした運動が行われておりました。

それに呼応する形で通建各社独自にQC活動を進めてきましたが、統

一すべきということで87年からSKY運動を業界挙げて取り組むようになった次第です。

今年の1年間の提案活動状況ですが、提案件数28件、NTT様に採択されたのが8件でした。この数字は例年並みであります。もう少し活性化すべきではないかと思っております。

本日は、特別参加していただくNTT西日本 関西事業本部様の発表と我々業界5件による計6件のKAIZEN提案の発表をさせていただきます。

KAIZEN活動は、現場で散見されている問題点を現場目線でとらえ、そして自らの創意工夫で解決していくという取り組みでございます。

これがグループKAIZENの範疇に属すると思えます。こういう現場



写真1 「SKYフォーラム2014 in 関西」会場
NTT西日本研修センター1F カンファレンスルーム



写真2 大会ご参加の皆様

力を向上させることが企業の生産性向上につながり、企業の活性化の原点になるのではないかと思います。この発表事例を各社は職場に持って帰って、参考になれば真似してもらえると大変ありがたいです。

通建業界も非常に厳しい競争環境でありまして、ますます効率性を追求しなければならない、そういう意味でKAIZEN活動がさらに活性化していくことを期待しているわけでございます。」との挨拶がありました(写真4)。

続いて(株)NTTフィールドテクノ 取締役関西支店長 猪俣様から「SKYのキーワードについて、企業が発展するためにもコスト削減、効率化が重要でございますし、NTT西日本も仕事の流れを大きくシフトしよう、サービス卸しを始めようとしております。NTT側も変わって

いかなければならないし、情報通信エンジニアリング協会の皆様もこれについて行かなければならない。

30代、40代の技術者が大きく抜けていることを懸念しています。これからどうやって技術を担保していくのか、まさしくSKY・KAIZENというキーワードは事業貢献の1つではあります、後任若手に対してどういう育成をするかということ

考えなければなりません。今は空洞化している状況で、いかに仕事をシンプルにするか、いかにキッチリ工事をするかが、SKYフォーラムのテーマかなと思います。最後に、「コスト削減・効率化、若手への技術の伝承を考えていただきたいということをお願いしたい」とのご挨拶(写真5)をいただいた後、本フォーラムが開始されました(写真6・7)。



写真3 会場受付



写真4 ITEA 関西支部
高江洲支部長 開会挨拶



写真5 NTTフィールドテクノ 関西支店
猪俣支店長様 来賓ご挨拶



写真6 傍聴の皆様



写真7 会員会社代表の皆様とご来賓代表

SKY表彰式

表1 平成26年度各社別提案件数

(単位：件)

協和エクシオ	ミライト・テクノロジーズ	日本コムシス	日本電通	ミライト	合計
13	8	5	2	0	28

年間最も多くのSKYの取組みを行った会社に対して「SKY表彰」を行いました。

平成25年10月から平成26年9月までの間でNTT様へのVE提案が13

件と、5社の中で最多提案件数であった(株)協和エクシオ関西支店が高江洲支部長より表彰され、表彰状と記念品が授与されました(表1)。



写真8 大会風景

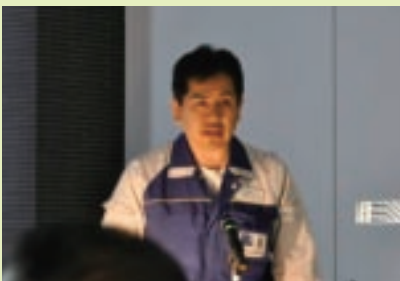
写真9 司会 (株)協和エクシオ
川端氏

写真10 発表会模様

写真11 SKY表彰 (株)協和エクシオ
関西支店写真12 西日本電信電話株式会社
発表者 山口義人様

写真13 高江洲支部長と発表者の皆様

SKY発表会

各社でのSKY活動として最も優秀であったものについて、1テーマ選出し発表を行うとともに、NTTグループ様代表としてNTT西日本関西事業本部設備部様からも発表を行っていただきました(表2)。

関西事業本部設備部様の発表内容は、ALL事故“ゼロ”実現に向けた関西カンパニーの取組みで、過去の事故を振り返り要因分析をした結果で取組施策を3件に絞り実践しているとの内容でした。

その他の発表につきましても、安全作業意識の高揚等、素晴らしい内容で、施策の水平展開や今後の積極的なSKY活動への刺激にもなりました(写真8~13)。

表2 発表テーマ一覧

発表テーマ	発表会社名	発表者	PC操作者
★作業を安全に行うための工夫	(株)ミライト 西日本支店	小門 寛志	後藤 俊之
★光共架申請書 作成不備の撲滅	(株)ミライト・テクノロジーズ	鹿伏兎 秀一	金島 卓
★ケーブル収容管補修技術（新技術：PITライニング工法）における安全・作業性の向上について【各種冶具の製作】	(株)協和エクシオ 関西支店	坂村 良和	三浦 徹秀
★さらなる無事故継続に向けた意識改革 ～無事故3000日達成へ～	日本電通(株)	白辻 義明	中尾 昌弘
★装置架の撤去時における接地線バイパス方法の改善	日本コムシス(株) 関西支店	小川 芳寛	桐原 剛
★ALL事故 “ゼロ” 実現に向けた関西カンパニーの取組み	西日本電信電話(株)	山口 義人	

おわりに

発表終了後、高江洲支部長より発表各社の代表者に記念品が贈呈され、(株)ミライト・テクノロジーズ 金島 卓リーダーの発声で関西支部の安全スローガン「まず安全 工夫を活かそう 知恵と技 ヨシ!!」を全員で唱和（写真14）した後、主

催者を代表してITEA 梶常務理事より「SKYフォーラムは長い歴史をもっております。来年は本年を上回る提案件数を期待しております。1件1件を見ますとちょっとした気づきから生まれてくるものだと思います。日頃から安全作業を最優先して事故ゼロでお願いしたい」との挨拶があり（写真15）閉会しました。

今回の大会は、441名の参加で無事終了することができました（表3）。

本大会に大変お忙しい中ご臨席くださいましたご来賓・NTTグループの皆様には感謝申し上げますとともに、大会の諸準備、運営にご協力いただきました関係各位に対して心から厚く御礼申し上げます。



写真14 スローガン唱和



写真15 梶常務理事の閉会挨拶

表3 大会概要

大会日時	平成26年11月20日 9:15～11:30	——	——
場 所	NTT西日本研修センター1F（大阪市）	——	——
参 加 者	ご来賓・NTTグループ	26名	441名
	情報通信エンジニアリング協会・会員会社	415名	